



2026年 1月 7日
第112号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第5号

「横浜線ワンマン運転について」に関する基本申し入れ (その1・運車)【全26項目】団体交渉を行う！⑤

12. 始発駅含む各駅において、快速および各駅停車待ち合わせについてのATOS自動放送を実施すること。
また、各駅ホーム上のLED案内表示板による「〇〇駅まで先着」等、快速電車待ち合わせの有無に関する案内表示を行えるよう、LED表示板を改良すること。
【会社回答】現時点において、案内放送装置の改修及び発車標の表示を変更する計画はない。なお、状況に応じて様々なツールを活用し、情報提供を行っていく考えである。

組合	会社
一部の駅では快速待避および各駅停車待ち合わせの自動放送が流れるようになっているが、全駅に流れるようにすること。	<u>自動放送を流す設定にするよう、駅指導を通じて各駅にお願いしていく考えである。</u>
駅での設定にはなるが、全駅において快速待ち合わせ有無に関するLED案内表示の設定を行うこと。	自動放送と同じく設定してもらえるよう伝えていく。ダイヤ乱れ時の対応もあると聞いているのでお願いは伝えていく。
初めてご利用になるお客さまでも、目的地に最適な電車を選べるように放送を拡充して欲しい。	ご意見として承る。

13. 停止位置修正時の取り扱いについて、停止位置修正限界ベルトを整備すること。
また、停止位置修正限界ベルトの範囲内でホーム端を超えていない数メートル程度の停止位置修正を行う場合、インチャージ修正と同様の取り扱いとすること。
【会社回答】停止位置修正限界目標については、ワンマン運転開始までに整備する考えである。なお、ワンマン列車における停止位置を行き過ぎた場合は、通達に則り取り扱うこととなる。

組合	会社
停止位置修正限界ベルトが整備され始めているが、根岸線内も含めて全駅に整備するのか。	<u>その通りである。</u> 根岸線内も順次整備していく
確認する。 停止位置修正限界ベルト内で停止位置修正を行う場合、インチャージ修正と同様に発車後の指令への報告を行う形を求める。	<u>停止位置修正限界ベルト内ではインチャージ修正で停止位置修正していただいて構わない。</u> 報告については区所での指導内容に従っていただきたい。

14. 人身事故や踏切事故、異音感知等で列車を長時間離れる場合に限り、
指令による肉声放送をリアルタイムで繰り返すこと。
【会社回答】状況に応じて、指令客室間通話機能及び指令室から列車内への放送機能を活用していく。

組合	会社
長時間離れる場合に限り、指令による肉声放送を繰り返すこと。	<u>南武線の実績として人身事故、車両点検、異音感知、車内トラブル、エアセクション対応時に放送を行っている。</u> 引き続き指令に横浜線でも同じ取り扱いをするようお願いしている。
他線区の遅れ情報などの提供について、AIを活用した繰り返し放送等は検討しないのか。	そのような装置を開発しているという話は聞いていない。VISやJR東日本アプリ、ホームページで情報は提供しているのでお客さまが情報を取得するツールはある。
お知らせ放送機能および異常時放送機能は一度しか流れないため、繰り返し機能を選べるように機能追加すること。	<u>これまでも繰り返し機能が欲しいというご意見は承っているので、関係箇所に伝えていきたい。</u> 引き続き求めます！
インバウンドのお客さまが安心してご利用していただくために、AIを活用した多言語案内放送のツールなど考えていることはあるか。	<u>指令室からの放送でタブレットを活用して多言語放送を行うなど出来ることはあると思う。</u> VISに英語の案内などもでるので活用してもらいたい。とはいえ、AIなど最新の技術があることは認識しているので反映していきたいと考えている。



次号⑥へ続く